

発行元  
東京新聞  
南千住専売店  
TEL3803-1781  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

## 心の語録⑨

「その人らしく働ける。助けがあれば、自立できる」

第361号 意欲を社会に繋げる 荒川区障害者就労支援センター「じよぶ・あらかわ」

「治す医療から見守る医療へ」

第365号 自分らしく生き、自分らしく最後を迎えること

「うまいものは美味しい」

第366号 南千住の味「にくまん」を継ぐ手打そば処いし井

「長生きは、いいことばかり」「苦労は薬になる」「明日に向けて歩いて行こう。」

第367号 何でもやってみよう。心を動かし、脳と身体を動かす 山口金蔵さん百二歳

「誰かに話を聞いてもらうことは、こころの健康に大きな役割を果たします。」

第369号 「耳できく」「目できく」「心できく」共感力をつけよう！傾聴ボランティアスクール

「見守って育てる」「地域で子どもを育てる。」

第372号 子どもの食と心を支える ほっこりアイランド in南千住

「一流に触れ、一流を作って行く」「本物を子どもは理解できる」

第373号 身体で歌う、こころでうたいあげる 東京荒川少年少女合唱隊

「一人の人間として尊厳を尊重して自立と回復を」

第374号 人と人を結ぶ、生命を結ぶほしのいえ  
「本物に触れて育つ感性」

第375号 音と一緒に動いて、五感での体験をアラファミーユファミリーコンサート

「頭を使っている人はアルツハイマー病になりにくい」「会話で脳を活性化」

第377号 「地域で取り組む認知症予防と回想法について」東京都長寿医療センター研究所鈴木宏幸氏の講演から

「心に耳を傾ける」

第379号 話すことで前進！傾聴ボランティアグループ「ダンボの会」

「自分の足を見つめて、意識して」

第380号 フットプリントで自分の足を知って、改善！さあ、健康寿命を伸ばしましょう！

「誰が見てもわかる、見える音楽を目指しています」

第382号 心を耕す見える音楽 手話音楽ハローブリッチ

「復興はまだまだです」「子どもたちが思い切り走ったりすることができるようになりたい」

第383号 サンタさん募集中！震災被災地釜石へボールのプレゼントを！

「大つごもりは、身を清めて静かに過ごします」「感謝の気持ちで再出発を」

第384号 日本人の心の抛り処 素盞雄神社

「珍しいものありがとう」

第386号 逸品酒と出会える野田屋酒店森谷（コッ通り）

「ひきこもりは誰にでも起る」と「当事

者や家族に寄り添い、脱出の方向の手助けに」

第386号 ひきこもりからの脱出の道標 荒川たびだちの会

「作品は、被災地や世界に旅立っています」「触れて楽しむ」

第387号 布の魔術師 エプロンおばさん

「大丈夫ですよ。大変でしたね」

第389号 繋がる。支えあう。誰もが笑顔で過ごせる街に 南千住つながり隊

「演じることは楽しむこと」

第392号 学んで、演じて、楽しんで豊かな時間を！演技者募集！読んで演じる会ほっとはくと

「認知症は病気です」「知識を得て、支え支えられる」

第393号 認知症を知る。予防する。支援する。相談できる。オレンジカフェ（認知症カフェ）

「リビング・ウイルは、人生の最終段階（終末期）を迎えたときの医療の選択について事前に意思表示しておく文書です。」

第394号 家族への最期の贈り物 リビング・ウイル（終末期医療における事前指示書）

すまいるたうんをいつもご愛読頂き、ありがとうございます。平成29年1月からの心の語録です。話し手の皆さんの温かさが思い出されます。

過去のすまいるたうんは、南千住図書館、荒川区社会福祉協議会で読めます。

今後ともよろしくお願い致します。

第410号  
平成31年

1月25日

# すまいるたうん

